

2006 年度審判講習会資料 IF の記入の仕方

はじめに

試合を運営するにあたって、最も重要な役割の一つが IF である。サーブ順・メンバーチェンジ・得点など、その他多くの確認を IF が間違えると試合に大きな影響を及ぼす。しかし、IF はバレーボールのルールさえ理解していれば難なくつとめることができる。各チームにおいては、全員が IF を担当できるよう練習を重ねてもらいたい。

IF を担当する際の注意事項

その1 あわてない

上にも書いたが、IF 担当者が間違えれば試合そのものが狂ってくる。間違えないよう慎重に書くこと。もちろん、試合をスムーズに行うためには、すばやい記入が求められるが、試合進行を優先しすぎて記入・確認のミスが生じることが多々ある。間違えるよりは、ゆっくりでも正確な記入を心掛けること。

その2 全ての始まりは IF から

主審の先生は、IF 担当者の OK の合図(両手を挙げる)無しでは、試合を開始・再開することはできない。また、試合終了の合図(両手を胸の前でクロス)も IF から始まる。全ての始まりは IF であり、次の流れで行われる。

IF 担当者 副審 主審

その3 副審とのコミュニケーションを大切に

タイムアウトの回数・得点などなど、多くの確認を副審と共に行うこと。少しでもおかしい点があれば、すぐに副審に訴え試合を中断してもらう。逆に副審の先生は、IF 担当者をこまめに確認し、IF 担当者に軽い緊張感と安心感を与えてもらいたい。

その4 クドイようですが・・・

クドイようだが、IF(公式記録)の記入が試合の中でもっとも大切な役割の一つ。例えば、両チームの得点を確認した際、IF だけが間違っていて、得点板

担当者・両チームのスコアブック記入者・観客・その他が正しい得点を示していても、本当は間違っている IF の得点が正しい得点となる。そんな試合嫌ですよね？

矛盾した言い方ですが、IF は緊張感をもち、リラックスして行いましょう!!

IF の記入手順(試合開始まで)

男・女の欄に×印

対戦するチーム名を先に書きコイントスを待つ

コイントス A or B とサーブ権が決定 の中に A or B を書き込む

サーブを打つチームの S を×印、レシーブをするチームの R を×印

両チームの主将と監督にサインをしてもらう

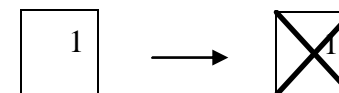
公式練習開始

副審と共にナンバーチェックを行う 副審の指示に従う

が終わった頃には、ラインナップシート(めだま)が提出されているはず

ラインナップシートをもとに先発メンバーをサーブ順に書き込む。(ここを間違えると大変なことになるので、何度も確認し、できることなら副審の先生に確認してもらう)

レシーブチームの「サービス順 I」の「1 回目」の欄に×印



主審・副審・記録員・線審の欄に名前を書き込む(これはコイントス前に済ませておくのがベスト)。線審は主審の右側から反時計回りに 1 2 3 4

公式練習終了

副審と共にポジションの確認を行う。準備が整った時点で試合開始の合図。

主審の吹笛 試合開始 試合開始時刻の記入

IF の記入手順(試合開始後)

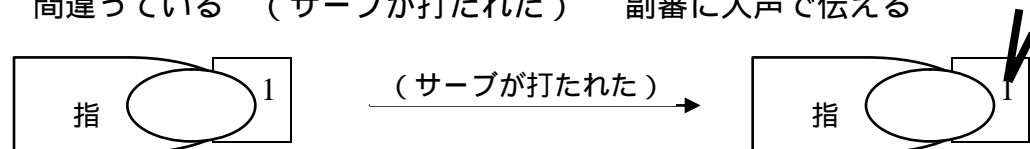
サービス順のチェック

サーブを打つ人のチェック欄にペンを持っていない方の人差し指を置く。

サーブを打つ人の番号がまっているか確認。

あっている (サーブが打たれた) 番号の上をレ点でチェックする。

間違っている (サーブが打たれた) 副審に大声で伝える



サーブ権が移動するまで指は離さない!!

サーブ権が移動 サーブが終わったときの点数を指を外して書き込む

得点の書き方

得点が入ったチームの数字を斜線で消す。

何よりも先に得点を斜線で消す!!

メンバーチェンジの書き方

交代する両選手の番号を確認 (副審に向け片手を挙げる)

out する選手の番号の下の競技者番号の欄に、in する選手の番号を書き込む

その時の得点を書き込む (副審に向け両手を挙げる) 試合再開

自チームの得点を左側に記入!!

5回目と6回目は副審に伝える!!

タイムアウトの書き方

タイムアウトを請求したチームの欄に得点を書き込む

(副審に次にサーブを打つ選手の番号をこっそり伝える) (30秒経過)

(準備できたら両手を挙げる) 試合再開

自チームの得点を左側に記入!!

2回目のタイムアウトのときは副審に伝える!!

IF の記入手順(試合終了直前～試合終了後)

セット(orマッチ)ポイントの確認

いずれかのチームがセット(orマッチ)ポイントに達したとき、IF担当者は 得点板を再度確認し、正しい得点が表示されているか確認する。正しい場合は、主審・副審に向けて、うなずきや笑顔などで正しいことを伝える。

(得点は常に確認しておく)

試合終了

試合の終了の合図をする 試合終了時刻を書き込む

の「サービスチェック順」に最後の点数を書き、その点数を で囲む

主将にサインをもらう 下の欄の書き込み

(注意点)

その1 セットを失ったチームの「勝」欄には「0」と書き込む。

その2 セットを取ったチームの「勝」の欄には「1」と書き込む。

その3 セット合計の欄にはそれぞれの合計を書き込む。

その4 2-0で試合が終了した場合はセット合計時間に3分たしたものが所要時間になるはず。(3セットの場合は6分たした時間)

その5 全てが終了したら の「記録員」の欄にサインをし副審に確認してもらおう。

その6 副審 主審の順に確認してもらい、OKが出れば終了。

